

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

<b>開催日時</b>	令和 元 年 10 月 18 日 (金) 午後 7 : 30 ~ 午後 9 : 20	
<b>開催場所</b>	城町 1 丁目公民館	
<b>出席議員</b>	議員名①	(班長) 日隈 知重
	議員名②	飯田 茂男
	議員名③	佐藤 功
	議員名④	中島 章二
		<b>氏 名</b>
	<b>司 会</b>	飯田 茂男
	<b>開会挨拶</b>	日隈 知重 (班長)・藤高自治会長
	<b>閉会挨拶</b>	日隈 知重 (班長)・藤高自治会長
	<b>記 録</b>	飯田 茂男
<b>参加人数</b>	31 名 (内訳 : 男性 22 名、女性 9 名) / アンケート回収 18 名	
<b>主 意 見 要 望 回 答</b>	<p>(1) 城内川の氾濫対策について・・・【事前提出のテーマ : 3-1】 (A 氏)</p> <p>玉川の流末部分から整備にかかり、およそ 10 年かかるという計画。また、(道路や橋の下部の部分の) コーティング工法による施工について、それが果たして良いのか。ヨーロッパ等では 3 方コンクリートである部分の工法が誤りであったということから自然工法に戻つつある。水が地下に浸透する工法でやらないといけないと言う話がある。河川改修を行う時にはそういう工法でやるべきであるとの学者の意見も出ている。そんな中で、コーティングをなぜやるのか。上流からの流砂等が全部流れずに堆積して溜るのではないのか。</p> <p>例として、花月川の改修について 3 年前に国交省は、河床掘削でやるとしていたが、毎年の堆積物の搬出の必要性を訴えた結果、河川の拡幅で整備する方向となった。</p> <p>城内川にあっては、市が「この改修をやっても災害を無くすことは出来ない」というコメントが出るようでは、「何をやっているのか」と言いたくなる。</p> <p>コーティング工法と言う新しい工法を導入するということについて、地域がなおざりにされている気がする。</p> <p>1 丁目には、すぐ越水する箇所がある。整備に 10 年もかかるのなら、極端に低い側壁部分を応急的にでも 10m とか 20m 区間だけでも嵩上げてほしい。</p>	

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
開催場所	城町1丁目公民館
主な意見・要望・回答	<p>また、水位が上がる要因として、橋の下に上城内からの小ヶ瀬井路の分水路からの水が勢いよく流れ込む部分があり、これも越水の原因となっており、そのような箇所も応急的な対応で嵩上を求める。</p> <p>(議員)</p> <p>水路沿いに家屋等が建ち込んでいる中で、水路の拡幅は困難な状況。川底を掘れる部分は掘り下げ、流量断面を確保する。また、国道や橋下等でこれが困難な箇所については、その部分をコーティング処理する方法で水が通り易くするという対応でいくということ。これは、あくまでも軽減対策であり、被害がゼロとすることは困難との考え方。平成29年豪雨相当の規模に対応するものではなく、市が想定する時間雨量65.7mmの雨量への対応を考えているもの。</p> <p>市は、現状で応急的な越流対策が必要な箇所が有れば、現地を確認の上で対応している。先日、案内して頂いた個所については、その対応ができるのではないかと思う。</p> <p>(B氏)</p> <p>コーティング工法と言うのは止めなさい。コーティングするというのは、水を止めるためにするのが役目(防水)で、スムーズに流すというものではない。そんな馬鹿な事を誰が考えたのか。金を掛けるだけ無駄。川の下に推進工法で地下トンネルを掘るべきだ。金と時間はかかるかも知れないが、馬鹿な事は止めてもらいたい。</p> <p>(議員)</p> <p>本来なら、きちんと流量断面を確保する形での整備が望ましいことに違いないが、その工事が難しい部分をコーティング工法採用に変えて凌ごうということについて、只今のご意見を担当課に伝える。</p> <p>(C氏)</p> <p>土地改良区が、どのくらい城内川を利用して流す水量が必要か、市の方で把握してもらって、流量がどれだけ必要か、それに応じて取水量調整してもらえないか。城内川からも入れているが、城町に入る時点で花月川のところで回避している。止めることも出来る。小ヶ瀬井路から大原前から城町2丁目から環流してまた道路を跨いで戻って来ている。その水が相当溜まっている状況。結局、ある程度の水があるから雨が降った時に、その水を抜いておけば良いのだが、それが出来ないから、越水してしまう。</p> <p>また、日田高の前を通過して暗渠で水の中城川へ環流している。それで水量が増えてさらにその水が、朝日木工の方に流れて直角にまがり、玉川グラウンドに降りて行く。そこには勾配があるのに、国道やJRの下が有るので通れないと</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

(2班)

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
開催場所	城町1丁目公民館
主な意見・要望・回答	<p>いうのでガックリきた。それならせめて、朝日木工の先から右に曲げて、また花月川に戻すなり、もっと先の高低差を確保した所で落とすというのはどうか。</p> <p>実際、庄手川のところで落としても徳瀬橋のところでバックウォーター現象が起こり、三隈川がいっぱい水がはけない。花月川の方でも渡里川が同様にバックウォーターが発生して内水反乱が起こっているように思う。</p> <p>そこで思っていることだが、中城から友田に貫ける路線は都市計画道路としては生きているはず。今あの道路は、暗渠で日田校の前から水を使っているから、道路を整備する時に一緒に、いわゆる第2雨水幹線ということで、そういうルートを創るということは出来ないのか。</p> <p>これは、パブリックコメントで出したが、特に返事は貰えなかった。 (議員)</p> <p>このご意見については、持ち帰って担当課の方に伝えておきます。 (D氏)</p> <p>私も今の意見の関連だ。強制排水について有効だと思っている。大分市の大石町は水害に悩まされていたが強制排水を入れて水害が無くなった。中城川の改修が終わるまでの間、強制排水装置を入れるという考えはないか。 (議員)</p> <p>強制排水と言うのは、排水ポンプ等の設置と言うことになるが、問題となるのはその設置位置や排水放流先をどうするかが問題となる。この点はどうか。 (D氏)</p> <p>自宅は総合庁舎の裏だが水害では道路が川になった。30センチの深さで水が流れた。川は暗渠が多いが掃除も出来ていないように思う。誰も掃除をしていない。花月川のところにポンプを設置して排水をするようにしてはどうか。 (C氏)</p> <p>中城グラウンドと大原グラウンドに調整池を造ったが、費用対効果が分らない。 (議員)</p> <p>調整池はどのくらいの効果があるのか。その検証は出来ていない。 (C氏)</p> <p>広瀬久兵衛さんは、大原神社付近にため池を持っていた。それは農業用水であり、出水時には調整池となっていた。城内にもそれがあった。それは、先人の知恵でもある。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

(2班)

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
開催場所	城町1丁目公民館
主な意見 ・ 要望 ・ 回答	<p>(A氏)</p> <p>水門管理について、一昨年は、水門管理の方が所定の操作を行っていなかった為、あわや水害に至る状況があった。市の職員の対応で事無きを得た状況。現在、水門の管理は市民が委託を受けて行っているが、その中には高齢者もいる。この方々には交代して頂きたい。そのためには、行政が水門管理に関わってほしい。今回の首都圏・東北での台風豪雨災害で、ある自治体では行政職員が日頃から機器の作動状況の確認等にも直接、水門の管理に関わっていた。重要な所は、他の自治体がやっているようにぜひ行政職員が関わってほしい。</p> <p>(議員)</p> <p>水門操作管理人の高齢化については、市としても課題としており早期に対応したいとしている。ただ、後継者の選任も容易ではないようだ。</p> <p>行政職員での対応について、市は緊急対応の必要性から、近隣の住民の方への委託を考えている。この件は、要望として持ち帰る。</p> <p>(2) 環境問題について・・・【事前提出のテーマ：3-2】</p> <p>① 清掃センターについて</p> <p>(A氏)</p> <p>千葉市に清掃工場が3カ所あり、その清掃工場の一つが更新時期になった際、ゴミ1/3の減量運動をやり、結局ゴミが1/3減った。その効果は大だった。特に紙を「雑紙」という専用の袋に入れてそれを再生用に回した。それが大きな成果につながった。ぜひ参考にしてほしい。問合せをして何が一番効果が有ったかを聞くのも良い。減量運動のPRも含めて考えて欲しい。</p> <p>(B氏)</p> <p>日田は、環境都市を謳っている。それを象徴するように、あの景色の良い所のウッドコンビナートに造ってはどうか。近くに産廃処理業者もあるし、バイオマス発電所もある。廃プラスチックの処理もできるし、外にゴミを運び出すことも少なくなるのでないか。道路の整備もできている。</p> <p>(議員)</p> <p>今、住民合意による用地の応募選定に向け動いている。あの周辺地域の住民合意があれば、それは出来ると思う。従って、あの地域から手を挙げて頂いて、その合意が得られているということになれば、それは可能だと思う。</p> <p>(C氏)</p> <p>清掃センターは、いま用地を公募しているが、もし全部が駄目になった時には、また緑町にするのか。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
開催場所	城町1丁目公民館
主な意見・要望・回答	<p>(議員)</p> <p>清掃センターについては、一定期間公募による募集をするが、応募があっても適当な地域が無かった場合にどうするのかということについては、今担当課が説明に回っている。何としても新しい施設をつくるために努力をするということで議会に説明があった。議会としてもその都度、報告をもらうようにしている。</p> <p>(3) 教職員の遠隔地への赴任について・・・【事前提出のテーマ：3-3】 (A氏)</p> <p>相当数の教員から聞くことだが、ご主人が遠隔地に赴任し奥さんが地元に住むという状況が家庭不和の原因になっているという。県教委の方針だが、その方針を改正するよう市議も県議も一緒にやって頂きたい。</p> <p>地域内の教職員は地域の文化を知って頂きたい。今、利己主義者が増えている。自治会活動も非常に厳しいものがある。そんな中で、教員は地域の中に住んで頂き勤務をし、地域の歴史文化を学んで頂き、小中学校の児童生徒と触れ合って頂きたい。</p> <p>そんな現場の声が多くあるということを理解し対応してほしい。</p> <p>(議員)</p> <p>大分県定期人事異動実施要綱に沿って人事異動を行っている。人事異動は人材育成の面から最大の研修機会となっている。多様な経験を積ませることなど多様な目的もある。人事には一般教職人事と管理職人事がある。管理職人事には遠方への配置もあり、また採用から10年以内に3地域に移動し経験を積むことを県教委が進めている。職員からメリット・デメリットも教委は聞いている。市教委では、なかなか実家に戻れない状況等も把握しているが、日田市だけでは変えることは困難。県教委には改善に向けた要望はしているところだ。</p> <p>(4) 防災無線について・・・【意見交換】 (A氏)</p> <p>6億近い予算を使い、1戸当たり3万円位かけるが、災害が来る前の情報を得るのには良いものだが、それを持って避難する者はいないと思う。災害が起きた後の役目は果たさないのではないか。避難しながら情報を得るのは不可能ではないか。FM放送でなければ機能を果たさないのではないか。自分は、大学で防災無線の研究している者だが、FM電波は280MHzより山陰に入り易い。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
開催場所	城町1丁目公民館
主な意見・要望・回答	<p>6億円という予算を使いながら、実際に災害が起きてしまったときに果たして情報が伝えられるかを考えると疑問。業者側の提案を鵜呑みにしての決定ではないと思うが、実際にシミュレーションした上での決定か。</p> <p>事業が決定しているので今更大きな変更は出来まいが、それならセカンドオプションとしてFMを使うということもあるのでは。実際にそれをやっている自治体がある。FM放送であれば、市民以外の者も含めて車の中でも聞けるメリットがある。6億円の予算価値に見合う機能をどうするかと考えて提案する。</p> <p>(議員)</p> <p>議会の中でもFM放送が個別に情報を流せる手段として活用できるのではないかと議員が提案した。議会でも総務環境委員会が視察に行っている。そこは都市部で、人口は同規模だが面積は狭い地域であり、日田市とは状況も違っていたが、議会としては、FM放送を防災情報発信手段として使うことをこれまでに提案してきた。これを受けて市は、総務省との相談や、電波局と帯域の問題などを協議した上で、最終的にこのポケベル帯域のラジオ型の防災無線を提案してきたという流れ。だから、その段階の中でそれは検討した筈である。検討の結果、こちらの有効性が高いという提案で予算が出されて来たという状況。市が具体的に問題点・デメリットをどこまで調査・検討したかは、議会答弁では、なかなかそれは難しいというだった。これにするということで調査をするとして今回、予算議案として上がってきたものだ。</p> <p>(A氏)</p> <p>FM局が1局で足りなきゃ2局を立ち上げる方法もある。日田は面積が広く1局では無理だという話もあったと思う。予算が6億円と大きく、各戸に1台ずつ配るということが現実的にできるのか。アパート住まいの方がいる。高齢者は良いかも知れないが、一度災害が起きたら役に立たなくなるのではないかという気がする。災害が起きたときに避難しながら聞けるような連絡方法、またそこを通りかかった人たちが聞けるような、受けられるようなメッセージの出し方、受け方というのが今の3万円の機器ではできないのでは。家にいる時は聞けるが避難したらそのラジオは多分家に置いて出ると思う。そうすればメッセージは伝わらない。今の事業の全部を変えるのが困難ならば、今やろうとしている事業を半分以下に抑えて、有効性を考え、残りの部分で必要な人にはFM電波で併設をする方法もある。その方が役に立つと思う。</p> <p>(議員)</p> <p>(意見として伺った。)</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

<b>開催日時</b>	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
<b>開催場所</b>	城町1丁目公民館
<b>主な意見・要望・回答</b>	<p>(B氏) 今の防災無線で、周辺部には小さい受信機が付いているが中心部にはそれが無い。今度の事業は、それと同様の物を選ぶのか。それとは全く別で、携帯のようなものを配布するのか。</p> <p>(議員) 日田市には、水郷テレビとKCVがある。これは近いうちに統合される。水郷テレビについては、テレビを見るのに合わせて各戸に受信機が備え付けてある。防災無線は、今回の280MHzに全域で統一されるので、水郷テレビを見ている世帯で防災無線を付けているところはこれが無くなって、全て280MHzに代るという説明を受けている。</p> <p>(5) 健康づくりについて・・・【意見交換】</p> <p>(A氏) 健康活動のウォーキングで、県のアプリで「おおいたあるとっく(歩得)」があるがそれと連動するのか。</p> <p>(議員) 市独自でやっているもの。日田市として健康増進につながるように、また検診の受診率の向上と医療費の削減に向けて実施しているものである。</p> <p>(6) 中学校の部活動の指導員の派遣について・・・【意見交換】</p> <p>(A氏) 部活動の件で、指導員は体育系のもの以外に文化部にも派遣されるものか。</p> <p>(議員) 学校から要請が有れば対応する形です。働き方改革の一環として先生方の業務量の改善ということと、中学校であれば専門性をもった部活動ということになるので、まったく知らない部活動を先生が担当するという負担を排除するという目的もあり、学校から要望が有ったところに配置できるように進めて行くもの。文化部にも要請が有れば可能である。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

( 2 班)

<b>開催日時</b>	令和元年10月18日(金) 午後7:30 ~ 午後9:20
<b>開催場所</b>	城町1丁目公民館
<b>主 な 意 見 ・ 要 望 ・ 回 答</b>	<p>(7) 議会報告会：その後の報告について・・・【意見交換】 (A氏) 今日はいろいろ意見が出てよかった。議会の方も今日の結果をまとめてホームページに載せているが、過去の例を見ると【こんな意見が出て、これは担当課に伝える】というようなことで終わっているの、意見が出て議論して、こうなったということを、遅れても構わないので検討結果を報告してほしい。 (議員) このご意見は他の地域でも聞くことがある。議会としては年1回の報告会となっており、要望については執行部に伝えて対応を要請しているところである。市が対処できるもの・できないものがあるが、これについては議会としても報告できるように対応していきたい。 (A氏) 以前、担当課を向わせるということだったが、その担当課も来ることは無かったという前例が有る。これについても来れないなら来れないで報告がほしい。 (議員) 担当課を向わせるのは難しい事ではないのですが、ご指摘はご尤もですのでそのように対処するよう努めていく。</p>